

# 備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【お問い合わせ先】  
淡路県民局洲本土木事務所  
企画調整担当  
〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5  
TEL：0799-26-2055  
FAX：0799-24-4513  
URL：http://web.pref.hyogo.lg.jp/  
sumotodoboku/index.html  
e-mail：sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

2020  
vol.55

『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

## 社会基盤整備の取り組みについて

安全・安心な淡路島を目指し、自然災害に『備える』、日々の暮らしを『支える』、次世代に持続的な発展を『つなぐ』の3つの視点のもと、緊急かつ重要な事業を計画的・効率的に進めます。

## I 備える ～自然災害に備える防災・減災対策の強化～

南海トラフ巨大地震による最大クラスの津波に備えるための防波堤の整備や橋りょうの耐震化など地震への対策、近年頻発している豪雨などによる水害に備えるための河川改修や土砂災害対策を進めます。



### 福良港湾口防波堤の整備計画

津波を湾の入口で低減させるために整備します。

#### ○防波堤工事

津波の波力を抑えるため、新しい防波堤の設置とすでに設置されている防波堤のかさ上げをします。

#### ○水門工事

福良港の良質な漁場を守るため、防波堤で仕切っても良好な水質環境が保てるよう、開口している航路以外に、海水を通水・循環させるための水門を2箇所つくります。

## II 支える ～日常生活や地域を支える社会基盤の充実～

地域間の交流を支えるため、地域の課題に対応した県道の整備、渋滞対策や歩行者の安全対策などを推進しています。また、スポーツやレクリエーションを目的としたツーリズムニーズに対応した公園の整備を進めます。

### 南あわじ市湊 歩道設置工事



御原橋をひろげています。

車道の端に自転車用の道(1.5m)を設けて歩道とわけて、歩行者と自転車の安全を確保する工事を行っています。

担当：道路第2課 青田主任

### 洲本市五色町上堺 バイパス工事



車の走行性・安全性の向上を図るためバイパス工事を行っています。  
担当：道路第1課 坂口職員

カーブになっており、道幅が狭いため対向車両同士のすれ違いが難しい道路。

## III つなぐ ～次世代につなぐ社会基盤の形成～

基幹ネットワークを形成し、地域間連携や交流の基盤となる神戸淡路鳴門自動車道の機能充実などを進めます。また、老朽化した社会基盤施設が急増することを踏まえ、施設の点検を実施しつつ、適時・適切な修繕・更新によって、計画的・効率的な老朽化対策を進めます。

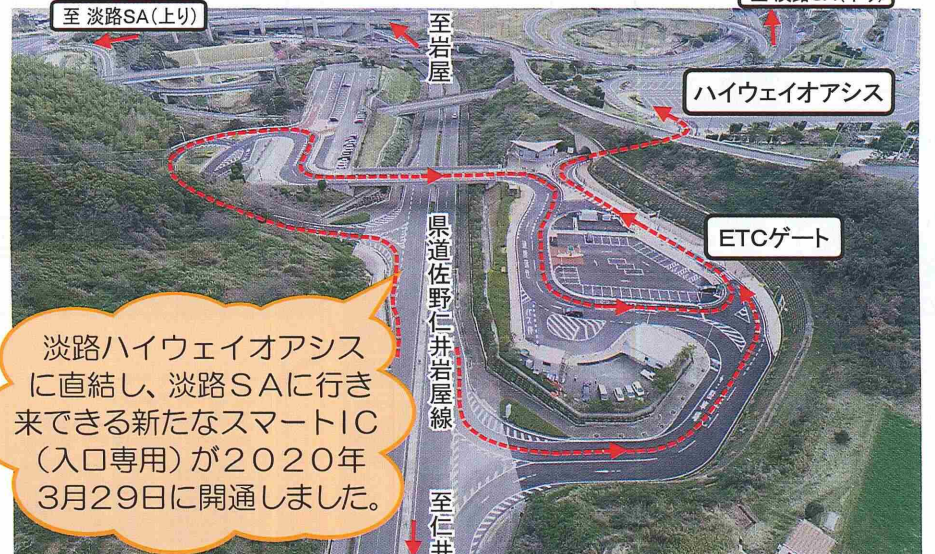
### 南あわじ市松帆 孫太川 排水機場更新工事



浸水被害が大きくならないよう、古くなった排水機場の更新工事を行っています。

担当：河川砂防課 井出主査

### 淡路北スマートインターチェンジ開通



淡路ハイウェイオアシスに直結し、淡路SAに行き来できる新たなスマートIC(入口専用)が2020年3月29日に開通しました。

至 淡路SA(下り)

至 淡路SA(上り)

至 岩屋

至 佐野

至 仁井

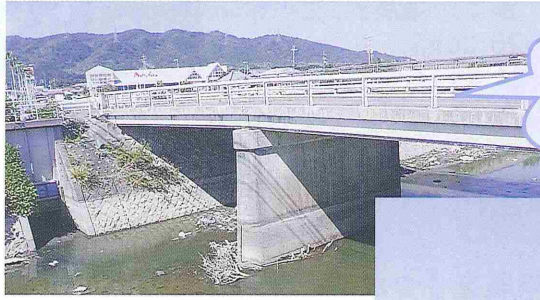
ハイウェイオアシス

ETCゲート



# 2019年度 完成工事

## 南あわじ市志知 松美橋 橋梁耐震補強工事



1978年に作られた松美橋。古くなった橋の老朽化対策と現在の耐震基準を満たす耐震補強工事。

県民のみなさんの安全・安心のため、耐震補強(橋脚の補強、落橋防止システム設置)工事を行いました。  
担当:道路第2課 上砂職員

## 淡路市野島轟木 地すべり防止工事



※施工時

斜面の中腹に地すべりを抑止する杭を2mおきに28本打ち込んでいます。

横ボーリングを掘って地下水を抜くことで、斜面を安定させています。  
担当:河川砂防課 川口主査

# 2020年度 主な工事

みなさんの安心・安全を支えるため 淡路島全域で工事を行います。



## 洪水浸水想定区域図

昨年8月に行った、『三原川』『洲本川』『塩屋川』『本庄川』の公表に引き続き、今年度は『志筑川』や『郡家川』など残りの23河川を公表しました。

①下記のバナーをクリック

想定最大規模 降雨・高潮による 洪水浸水想定区域図等

洪水 高潮

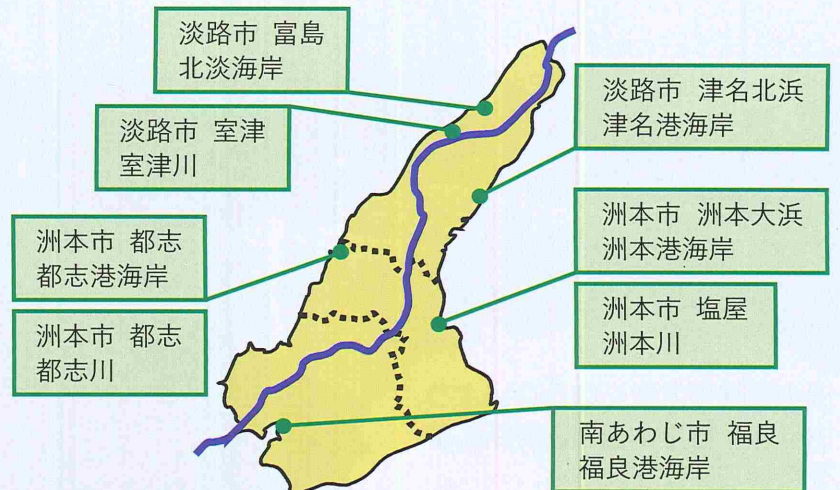
②洪水浸水想定区域等から「〇〇水系」を選択

スマートフォン・モバイルサイトはこちら  
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>

兵庫県 CGハザードマップ  
<http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/>

## 高潮対策10箇年計画

被害の規模や範囲などが極めて大きく激しい高潮被害から県民の生命・財産を守るため、近年の台風等を考慮して防潮堤等の必要な高さを見直したうえで、10年間で取り組むべき緊急かつ重要な箇所を選定し、計画的・重点的に高潮対策を進めます。



兵庫県 HP  
[https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20200601\\_5359.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/press/20200601_5359.html)



# 備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【発行：2020年11月11日】

2020

vol.56

【お問い合わせ先】

淡路県民局洲本土木事務所  
企画調整担当

〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5

TEL：0799-26-2055

FAX：0799-24-4513

URL：http://web.pref.hyogo.lg.jp/

sumotodoboku/index.html

e-mail：sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

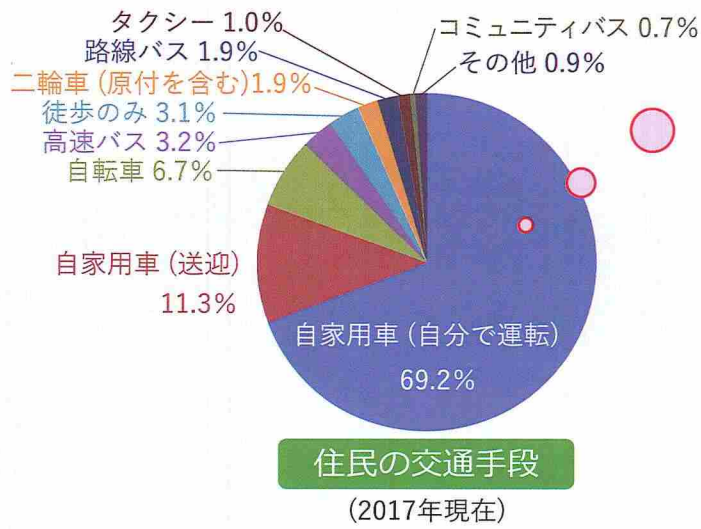
『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

## 公共交通の充実

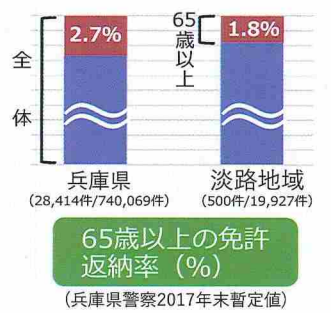
淡路地域では、車社会化の進展や人口減少などにより公共交通利用者が減っています。

今、車を運転できる人でも、歳をとって運転できなくなってしまったら公共交通のお世話になるかもしれません。

車を運転できないお年寄りや学生は、公共交通がなければ不便な生活が強いられます。



住民の移動手段は自家用車が約81% (※自分で運転、送迎含むの合計)と高く、路線バスは1.9%、コミュニティバスは0.7%となっています。



## 淡路地域の主な公共交通

高速バス



淡路交通



本四海峡バス

### ○路線バスやコミュニティバスに対する支援

通院、通勤・通学、買物等の住民の日常生活を支える「最後の交通手段」として、重要な役割を担っている生活交通バスを維持確保するため、兵庫県では、国、県、市の適切な役割分担のもと、路線バスやコミュニティバスに対して運行にかかる経費などを支援しています。

路線バス



淡路交通



本四海峡バス

### 旅客船



沼島汽船



淡路ジェノライン

コミュニティバス



コミバス(洲本市)



らん・らんバス(南あわじ市)



あわ神あわ姫バス(淡路市)

タクシー



みなとタクシー

各地で路線バスを補完する形で運行されており、通院や買い物等日常生活を支えています。

淡路地域内のバスは1時間に1本だったり、時間帯によっては最大4時間以上の空白があります。

住民が安心して暮らし、地域内外の人々が交流する活気あふれる地域であるためには、住民、来訪者がそれぞれの目的に応じて円滑に移動できる環境が必要です。

住民の多くが公共交通を利用したり、地域外からの公共交通を利用する観光客を増すことで、便数やルートが充実するでしょう。みんなが少しずつお互いのことを考え、公共交通を利用することで、みんなの街、みんなの公共交通を守ることができます。

### 公共交通3つのメリット

公共交通の利用は、環境にとって、自分にとって、大切な人達にとって良いことがあります。

1. 環境・・・そろそろ自動車から乗り換えどきかも?!  
バス利用によるCO2排出量は、自家用自動車と比べると、1/3
2. 健康・・・メタボ脱却は、公共交通から!  
移動に伴う消費カロリーは、自家用自動車と比べると、公共交通は2倍
3. 安全・・・その差は歴然、けた違いの安全性!  
バスによる事故は、自家用自動車と比べると、1/50

### 淡路県民局での取り組み

淡路県民局では、洲本市、南あわじ市、淡路市とともに淡路の観光地への公共交通の利用促進やバス交通などの利便性向上の取り組みについて話し合っています。



淡路島観光交通調整会議の様子



公共交通を知ってもらうために・・・  
『あわじ足ナビ』を発行(10月1日改訂版)

淡路島総合公共交通情報雑誌『あわじ足ナビ』をぜひご利用ください。  
観光客が公共交通を利用しやすくするため、高速バス、路線バス、コミュニティバス、海上交通の時刻表、乗り換え情報、淡路島内の観光情報等を掲載しています。  
各市役所、県民局にて無料配布しています。県民局では郵送(郵便代が別途必要です)でも対応しています。



【問合せ先】  
(一社) 淡路島観光協会  
TEL: 0799-25-5820

詳しくはホームページ



あわじ足ナビ 検索

## 完成工事紹介

### 淡路市浦 佐野仁井岩屋線道路改良工事 (2020年7月完成)

道幅が狭く、カーブの連続する道路。



走行性・安全性向上のために、2車線かつ直線のバイパス工事を行いました。  
担当: 道路第1課 穂積職員



至淡路IC  
(岩屋)

### 淡路市郡家 離岸堤嵩上げ工事 (2020年8月完成)

※工事前



離岸堤は波の勢いを弱める役割がありますが離岸堤が沈下しており、陸上部へ波が侵入することが多くなっていました。



離岸堤は波の勢いを弱める役割があります。離岸堤のかさ上げ工事を行い、陸上部への波の侵入を減らすことで、安心と安全を確保しました。担当: 港湾第1課 松本職員



### 洲本市五色町鳥飼 潜堤改良ブロック据付・作成工事 (2020年7月完成)

※工事前



既設の人工リーフの改良工事でコンクリートブロックによるかさ上げを実施。景観に配慮しつつ陸上部への波の侵入被害の低減を図る工事を行いました。担当: 港湾第2課 石田主任



## お知らせ

### 『緑花学習教室』を開催します。

#### 【緑花学習事業】

幼稚園や保育所、小学校などの公園庭にて、幼児等を対象とした寄せ植え教室等の出前講座を行っています。



#### 【申込方法】

淡路県民局まちづくり建築課にて用意している申込用紙に、必要事項を記入し、まちづくり建築課へ申し込みしてください。

子どものころから緑花に親しむことで、緑花に対する意識の向上につながっていくと思います。ぜひご活用ください。  
担当: まちづくり建築課 岡主査

### 高潮浸水想定区域図の発表をしました。



下記のバナーをクリック

想定最大規模  
降雨・高潮による  
浸水想定区域図  
洪水 高潮

スマートフォン・  
モバイルサイトはこちら  
http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/  
スマートフォン・携帯電話からCGハザードマップの情報が閲覧できます。

兵庫県 CGハザードマップ  
http://www.hazardmap.pref.hyogo.jp/

### 『洲本川レガッタ2020』が開催されました。

2004年の台風23号で大きな被害を受けた洲本川の復興を記念するボート競技大会『洲本川レガッタ2020』が9月6日(日)に洲本川河口で開催されました。

今年は記念すべき第10回大会であり、新型コロナウイルスの対策(参加者の検温、消毒など)をとりながら熱戦が繰り広げられました。





# 備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【発行：2021年3月31日】

2020

vol.57

【お問い合わせ先】

淡路県民局洲本土木事務所  
企画調整担当

〒656-0021 洲本市塩屋2丁目4-5

TEL：0799-26-2055

FAX：0799-24-4513

URL：http://web.pref.hyogo.lg.jp/  
sumotodoboku/index.html

e-mail：sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

## 昔の写真でみる淡路の社会基盤 ～港湾・道路編～

淡路島内で整備されてきた社会基盤はどのような役割を担ってきたのでしょうか。昔の写真を振り返りながら考えてみましょう。

### 洲本市 洲本港

左下の写真は、昭和37年当時の洲本港の様子です（現在の洲本港ポートターミナルの駐輪場付近）。旅客船から降り立った人、人、人で大変にぎわっていることがわかります。

ほとんどは観光客のようで、これから島めぐりバスに乗って淡路見物に行くのでしょうか。鉄道に乗って鳴門の観潮や徳島に渡る人もいたでしょう。

一方、右下の写真は現在の洲本港の様子です。昔のにぎわいはなく閑散としていますが、今では休日などにレジャー用ボートが利用しています。

昭和37年



どうしてこんなに  
様子が変わったの  
でしょうか？

現在



※撮影＝宗 虎亮氏

## 大鳴門橋や明石海峡大橋がなかった時代の淡路島を知っていますか？

淡路は島国ですから、大鳴門橋や明石海峡大橋がなかった時代はすべて船を使っていました。神戸方面へのお出かけや物資の輸送、観光客もすべて船を使うことになります。

船で人や物を運ぶには港（みなと）が必要です。

昭和の時代、淡路島の社会基盤は港や道路の整備に力を入れてきました。

栈橋の整備や物資輸送に必要な物揚げ場を整備し、人の移動や物資、農産物や海産物を輸送しながら淡路島は発展していきました。

現在は橋が整備されて、高速道路を使って人の移動や物資が運び込まれるようになり、淡路島民にとっても大変便利になりました。しかし、災害で橋が突然止まってしまったらどうなるでしょう。



## 淡路市塩尾 国道 28 号

左の写真は、昭和37年当時の塩尾地区の様子です。舗装はされていないので、砂けむりがあがっているようです。ちなみに、岬の岬の張りにあるのは塩尾港で、高田屋嘉兵衛が私財を投じて改修し、1831年に完成しました。今でもその時代の防波堤を見ることができます。

未舗装の国道は、「そろばん道」といわれたほどガタガタで、トラックの積み荷が痛んだりすることもあり、運搬に時間がかかりました。

昭和29年に鳴門海峡と明石海峡からフェリーが開通され、四国や淡路島の物流にクルマが中心になっていきます。国道が改良され舗装されていったのは昭和30年代からで、トラックによる輸送が飛躍的に伸びていきます。

昭和28年



※撮影=宗 虎亮氏

現在



国道のほか県道や市道でも順次舗装をしていくことで、昭和40年代に自家用車が増加し、クルマ社会が到来していきました。国道28号の改修がすべて完成したのは昭和41年、大正時代から走っていた淡路で唯一の鉄道は、クルマ社会の到来によってその半年後に廃止に追い込まれました。

右上の写真は現在の様子です。道路が舗装されクルマは快適に走れます。沖の一部が埋め立てられ、「ワールドパークおのころ」などができています。

### 淡路島を往来するフェリーに乗ったことはありますか？

現在は、未舗装の国道やフェリーはありません。大鳴門橋や明石海峡大橋が開通し、人の移動や物資の輸送は高速道路を使うようになり、淡路島民にとっても大変便利になり、加えて、島外からマイカーによる観光客が増えていきます。

このように社会基盤が整備されることで交通手段が様変わりしていきませんが、淡路島が大きく発展していきました。

これら道路を含めて社会基盤が、私たちの生活にどのように役立っているのか考えてみましょう……

## お知らせ

### 『アワイチ』路面表示を設置しました。

淡路島の外周を時計回りに一周する延長約150kmのサイクリングコース『アワイチ』。



<案内標識>

<距離標>

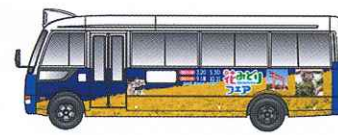
<距離標>

サイクリストが迷わず走行できる環境を目指し、案内標識や距離標を整備しています。令和2年度は、路面表示(30ヶ所)を設置しました。

### 南あわじ市による観光客向けバスの運行

3月20日から始まる「花みどりフェア」にあわせて、南あわじ市が「イングランドの丘」、「淡路島牧場」、「おのころ神社」を結ぶ観光ルートバスを運行します。

(便数は8往復/日)



<運行期間>

花みどりフェア期間中の3月20日から5月30日と9月18日～10月31日は毎日  
5月31日～9月19日は土日祝のみ

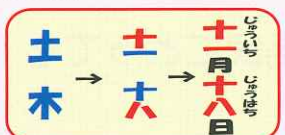
### 『土木の日』淡路県民局洲本土木事務所PRイベントを開催しました。

令和2年11月15日(日)に佐野運動公園において『土木の日』PRイベントを開催しました。

県民の皆さんに、土木技術や土木事業にたいする理解を深めていただくために、毎年、11月に開催しています。

#### 土木の日の由来 ～11月18日は土木の日～

『土木』という2文字を分解すると、『土』は『十一』に、『木』は『十八』となることから、土木学会が11月18日を『土木の日』と決めました。



当日、佐野運動公園では『スポーツフェスタ in ボールパークあわじ』が開催されており、多くの少年野球、少年サッカーの選手やコーチ、監督、保護者の皆さんに会場していただきました。

今回は新型コロナウイルスの影響もあり、同時開催の「スポーツフェスタ in ボールパークあわじ」が規模を縮小する方向となりましたが、晴天にも恵まれ、約150名の参加がありました。また、新型コロナウイルス感染拡大の予防対策の中、パネル展示、クイズにはたくさんの方が参加していただき、大盛況でイベントが行われました。職員の熱心な説明に、来場者は興味を持って聞き入っていました。

